

厚生常任委員会活動レポート

開催日：令和6年4月16日(火)

開催場所：1・2号委員会室

町立病院

1. 町立病院の管理運営について

令和6年度2月末現在、月別患者数は前年同期を下回るものの予算を2.3%上回り、診療収入は入院・外来ともに前年同期・予算を上回る状況との説明を受けました。

また、4月1日現在の新規採用医師をはじめ医師体制の報告がありました。

【主な質疑】

委員：泌尿器科のオンライン診療はいつまでを考えていますか？

担当：三樹会病院が来ていただける間は対面診療、オンライン診療を並行して続けていきます。

委員：町の広報紙に110床プロジェクトの経過等を掲載してもらえますか？

担当：町民に広く知っていただくためにも成果掲載を検討していきます。

委員：帯広の病院では看護師の離職を防ぐために、2人1組のチームを作ることで、離職率が減少した実績が新聞に掲載されていました。情報収集など先進事例を集めてみてはどうですか？

担当：十勝方面の看護師の実態は把握していませんが、管内で看護師の行き来は聞いていました。今後、離職率、採用募集も含めて色々な角度から検討し進めていきます。

町民生活部

2. 国民健康保険事業について

(1) 中標津町第3期国民健康保険データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画について

令和6～11年度までを計画期間とする「中標津町第3期国民健康保険データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画」の概要について説明を受けました。

様々な分析結果を基に、健康寿命の延伸目標値や入院医療費の抑制目標値等を定め、特定健診受診率・特定保健指導実施率では北海道と協力して、令和11年度までに60%の目標値を設定するとのことでした。

【主な質疑】

委員：60%の目標値を達成するには受け取る側の問題意識に届かないとならないと思いますがいかがですか？

担当：北海道全体の特定検診受診率が低く、この率は北海道が掲げている数値と合わせて設定しています。北海道も全国的と比較し受診率が低いことを問題と捉えていて、全道的に受診率向上に向けて取り組んでいくこととしています。

3. 新型コロナウイルスへの対応について

(1) 新型コロナワクチンの接種状況等について

令和5年秋開始の接種状況については、接種対象者の41.5%であると報告を受けました。また、今後は65歳以上の町民及び60歳以上の慢性高度心・腎・呼吸器不全の町民はインフルエンザと同様の定期接種化となるとの説明を受けました。

定期接種：15,300円（うち8,300円国助成、うち7,000円自己負担）

任意接種：15,300円（全額自己負担）

※金額はワクチン価格の変動により増減する可能性があります。

【主な質疑】

委員：定期接種の間隔は？

担当：季節性のインフルエンザ同様、1年に1回の接種です。

委員：接種場所は？

担当：今後、町内の医療機関に働きかけを行う予定です。